

各農業改良普及センター所長 様
各農業協同組合長(営農担当者) 様
各病虫害防除員 様
各関係機関長・団体長 様

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので送付します。

◇
発生予察注意報第1号

農作物名 **豆、野菜全般**
病虫害名 **アブラムシ類とウイルス病**
1 発生地域 **府内全域**
2 発生量(平年比) **多い**

3 注意報発表の根拠

- (1) 5月中旬の巡回調査において、キュウリ(露地)での寄生虫数が0.69頭/葉(平年値0.05頭/葉)で平年比多く、寄生株率も48.7%(平年値4.5%)で平年比多い(表)。キャベツ、ナス、ネギやホウレンソウ(露地)においても、同様の傾向を示した。
- (2) 今後1か月の気象予報(5月10日発表)では、気温、降水量は平年並であるが、1週目の気温は平年並又は高くなると予想されており、30℃以上の日が続いている。
- (3) アブラムシ類の吸汁、媒介によるウイルス病の多発が懸念される。

表 各作物におけるアブラムシ類の発生状況(5月中旬巡回調査)

作物	寄生虫数(頭/株)			寄生株率(%)		
	25年	平年値	平年比	25年	平年値	平年比
キュウリ(露地)	0.69	0.05	多	48.7	4.5	多
キャベツ	7.49	0.37	多	80.0	15.9	多
ナス	1.28	0.23	多	40.4	15.8	多
ネギ	0.16	0.03	多	13.0	2.1	多
ホウレンソウ(露地)	2.32	1.93	やや多	78.0	31.2	多

平年値：過去10年の平均値、平年比：過去10年のデータとの比較により判定

4 防除上の留意事項

- (1) 現時点では、有翅虫の割合が多いが、今後、急速に増殖した無翅虫が集団で作物を加害する。その後、無翅虫が過密になると有翅虫が現れて分散する。
- (2) ほ場をよく見回り、早期発見によりアブラムシ類の防除につとめる。使用する防除薬剤については、農薬使用基準や注意事項を遵守する。
- (3) エダマメや野菜等をは種又は定植する際には、シルバーフィルムやムシコン等のマルチを被覆するか、シルバーテープを張り、有翅虫の飛来を防止する。